

大阪大学 フェローシップ創設事業
「社会と知の統合」を実現する
イノベーション博士人材フェローシップ

2021 年度 募集要項

本要項は大阪大学フェローシップ創設事業のうち「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップについて、フェローへの申請資格・申請方法・選抜試験の進め方などを示しています。

申請に際しては、ホームページ (<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2021/001042.php>) に掲載される最新情報を随時ご確認ください。また、申請に際しては 2021 年度 4 月以降の指導教員とよく相談をし、必ず指導教員の了承を得てください。

1. 制度の概要

1.1. 「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップの目的

先端的な科学技術の応用によってイノベーションが生み出されるといった「リニアモデル」の限界が指摘される中、大阪大学では「社会と知の統合」という理念の下、高度な専門力と汎用力を持ち、社会の多様なアクターとの共創によりイノベーションを牽引する新たな博士人材の育成を強化しています。「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ（以下、本フェローシップ）では、そうした人材への成長を目指し実践的な学際共創プロジェクトに従事する学生をフェローとして採用し研究専念支援金と研究費を支援します。

1.2. フェローのミッション

本フェローシップにおけるフェローとして採用された者は期間中、学際共創プロジェクトに参画することが求められます。学際共創プロジェクトとは、DWAA^{※1}において「社会と知の統合」に位置づけられる活動のうち、学内機関が主幹となって実施する、学外関係者との共創により社会課題に取り組む長期プロジェクトを指します。採用者は、参画する学際共創プロジェクトを主管する部局等において3年間（10月入学者にあっては2年6ヶ月間）に渡って、社会と知の統合に関わる活動を精力的に行うことを義務とします^{※2}。加えて、新たなキャリアパスの開拓に向けて各種の取り組みに積極的に参加することとします。また、上記に沿った各年度の活動内容について、年度末に報告を行うこととします。

2. 申請について

本フェローシップにおけるフェローとして採用されるためには、期日までに申請をした上で本フェローシップ選抜試験（以下、「選抜試験」）を受け、これに合格しなければなりません。

2.1. 申請資格

2021年度4月1日現在、満30歳未満の者（臨床研修を課せられた医学系分野に在籍した者においては33歳未満）で、下表に記載されている研究科・専攻・課程に、博士後期課程1年次、5年制博士課程の3年次（修士課程の修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限る）、および4年制博士課程の2年次として在籍する者を申請可能とします。

課程	研究科・専攻 ^{*3}
博士後期課程	文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科（構成大学のうち大阪大学）
4年制博士課程	医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（医療薬学専攻）
5年制博士課程	生命機能研究科

※1 大阪大学が推進する学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）

※2 学内組織が実施する複数のプログラム等の活動を組み合わせて3年間の活動計画とすることも可能です。

※3 専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

ただし、次に掲げる者は申請資格に該当しません。

- 社会人※4
- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受給している者
- 留学生として外国の政府等からの奨学金を受給している者
- 国費外国人留学生として日本政府（文部科学省）奨学金を受給している者
- 本学が実施する奨学金等を受給している者。ただし、授業料を援助するためのものについては、この限りではありません。また、上記に示す奨学金等を受給している場合、フェローシップの支給開始までに当該奨学金等の受給を辞退する場合は申請可能です。その場合、研究専念支援金については、フェローシップ支給開始年度に支給された当該奨学金等の支給額相当分を減じて支給します。

本学が実施する他のフェローシップ（超階層マテリアルサイエンスプログラム、分野横断イノベーションを創造する情報人材育成フェローシップ、量子リーダー人材フェローシップ）との重複申請は不可とします。

2.2 学際共創プロジェクトについて

学際共創プロジェクトとは、DWAA※1において「社会と知の統合」に位置づけられる活動のうち、学内機関が主幹となって実施する、学外関係者との共創により社会課題に取り組む長期プロジェクトを指します。フェロー採用後、学際共創プロジェクトを円滑に開始するために、採用後に参画する学際共創プロジェクトが申請時点で想定されていることが求められます。学際共創プロジェクトは（1）学外の組織・機関等との連携があること、（2）個人の教員ではなく学内のいずれかの組織が管理するプロジェクトであることが要件となります。

下表に例示されたプロジェクト以外のもの（研究科における個別の取り組み等）への参画を検討している場合には、それが学際共創プロジェクト該当するかについて、末尾の問い合わせ先までご相談ください。申請書の提出にあたっては、参画を予定するプロジェクトを実施する部局等の担当者へ事前に連絡し、参画の内諾を得てください。

学際共創プロジェクトに該当する取り組みを行う部局等の例

プロジェクト名称	実施プログラム等	プロジェクトに参画可能な対象	担当者連絡先
オーブンプロジェクト、 大阪大学オムニサイト（OOS）、 公共サービス・ラーニング特定演習、 コミュニティ・ラーニング特定演習	人間科学研究科附属未来共創センター、未来共生イノベータープログラム（人間科学研究科）	全研究科 大学院生	info@respect.osaka-u.ac.jp
研究プロジェクト	公共圏における科学技術・教育研究拠点（CO デザインセンター）		stips-staff@cscd.osaka-u.ac.jp
超域イノベーション総合	超域イノベーション博士課程プログラム（国際共創大学院学位プログラム推進機構）		info@cbi.osaka-u.ac.jp

※4 「社会人」とは、文部科学省の学校基本調査における①職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、②給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫を指します。

2. 採用について

2.1. 採用人数

20名^{※5}（2021年度）

2.2. 採用期間

2021年4月1日から3年間^{※6}

2.3 支援内容

フェローシップ生には、申請書に記載の活動内容に専念できるよう、研究専念支援金(生活費相当)の支給及び当該の活動を行うための研究費が交付されます。

2021年度の支給予定額は以下のとおりです。

(1)研究専念支援金:年額 180万円（年額の12分の1に相当する額を原則として毎月支給）^{※7}

(2)研究費 :年額 70万円^{※8}

3. 選抜に関する日程

申請書受付期間	2021年4月5日(月)～同4月19日(月) 正午
書類審査結果通知	2021年4月下旬 ^{※9}
面接審査資料提出締め切り	2021年5月5日(水・祝) 17:00
オンライン面接審査	2021年5月6日(木)～同5月9日(日) 試験内容の詳細、諸注意事項は「6. オンライン面接審査について」を参照してください
採用通知	2021年5月14日(金) ^{※10}

なお、障がい等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合には原則として2021年4月12日(月)までに本フェローシップ事務局へお問い合わせください(連絡先は末尾を参照)。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。

※5 採用予定数は予算の状況により増減することがあります。

※6 2020年10月に入学した者については2021年4月1日から2023年9月30日までの2年6ヶ月間とする。また期間中に在籍している博士課程を退学又は除籍となる等受給資格を喪失した場合、その時点までの期間とする。

※7 初回の支給について、2021年6月に4月～6月分の支援金がまとめて指定口座に振り込まれます。

※8 採用者が所属する研究科に配分されます。

※9 書類審査の結果は各申請者へ個別にメールで通知します。

※10 採用通知は各申請者へ個別にメールで通知します。

4. 申請手続

本フェローシップのホームページ (<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2021/001042.php>) から所定の様式をダウンロードし、下記要領で提出してください。

申請方法	申請書電子ファイルを NII FileSender で送付（下記 送付方法を参照）
申請書受付期間	2021 年 4 月 5 日（月）～ 同 4 月 19 日（月）正午

【送付方法】

申請書に必要事項を記入後、PDF ファイルに変換し、NII FileSender (<https://filesender.nii.ac.jp/>) で selection@cscd.osaka-u.ac.jp へ送付してください。個人情報保護のため、メールへの添付は行わず、必ず NII FileSender を利用してください。

NII FileSender は国立情報学研究所が提供している大容量ファイル送信サービスです。ファイルは暗号化してサーバに保存され、ファイル通信時は SSL による暗号通信で守られます。利用には大阪大学個人 ID およびパスワードが必要になります。利用方法の詳細は下記マニュアルからご確認ください。

NII FileSender 利用方法: https://www.andrew.ac.jp/c-center/pdf/SAINT/NIIFileSender_manual.pdf

学術認証フェデレーションによるログイン方法: <https://web.auth.osaka-u.ac.jp/gakunin/ds-login.html>

5. 申請に際して提出する書類

申請書類	
様式 1	申請書・履歴書
様式 2	受験票
様式 3	申請理由・活動計画書
様式 4	研究に関する申告書・業績一覧
様式 5	指導教員の推薦書・合格時の履修承諾書 ※申請者は 2021 年 4 月以降の指導教員へ様式 7 を送付し、指導教員から記入後の様式 7 を本フェローシップに送付するよう依頼してください。詳細は様式 7 の説明を参照してください。指導教員が未定の場合は問い合わせ先までご相談ください。
	成績証明書 ※修士課程もしくはそれに相当する課程における成績証明書またはこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを電子ファイルにて様式とともに提出してください。
	外国語運用能力参考資料（任意） ※直近 2 年間に外国語の検定試験を受験したことがある者はそのスコア・成績を示す資料のコピーを電子ファイルにて様式とともに提出してください。また、日本語を母語としない者にとっては、日本語の検定試験のスコア・成績を示す資料のコピーを、電子ファイルにて提出してください。

なお、申請書類の準備にあたっては、下記の各事項に注意してください。

- 様式の変更（欄の追加、枠のサイズ変更等）は行わないでください。
- 様式 1 から 4 については日本語で記入してください。
- 図表はカラー可とします。
- 申請書類に不備のある場合は原則として受理できません。
- 申請手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- 申請時に提出された書類は、原則として返却しません。
- 申請書類に虚偽の記載があった場合は、採用決定後であっても採用を取り消すことがあります。

6. オンライン面接審査について

6.1. 審査の実施について

試験日・内容： 2021 年 5 月 6 日（木）～ 同 5 月 9 日（日）^{※11} / プレゼンテーション・質疑応答

オンラインテレビ会議システム（zoom）を用いて、10 分間のプレゼンテーションおよび 20 分間の質疑応答を実施します。プレゼンテーションでは、自身の研究についての紹介、これまでの社会活動・グループ活動、フェロー期間中の活動計画や抱負等について、異分野の大学院生にも十全に伝わるよう工夫された内容で紹介してください。質疑応答では発表内容の他、出願書類の内容についても質問を行います。

プレゼンテーションで資料を用いる場合、5 月 5 日（水・祝）17:00 までに本フェローシップ事務局（selection@cscd.osaka-u.ac.jp）に送信してください。資料の形式は pptx か pdf に限ります。また、送信後の資料の差し替えは認めません。

なお、受験者がオンラインテレビ会議システム（zoom）での面接に適した機器・環境を有していない場合（PC を有していない、PC にビデオカメラが搭載されていない、インターネットが利用できない、通信量に制限があるなど）、プレゼンテーション・面接審査の時間帯に限り、本学の無線 LAN が利用できる PC を所定の教室で貸与します。希望する学生は 4 月 30 日（金）17:00 までに問い合わせ先にその旨をお伝えください。

6.2. 審査における注意事項

- (1) 面接開始時刻の 5 分前にオンラインテレビ会議システム（zoom）のミーティングルームにアクセスしてください。面接開始時刻まで待機し、開始時刻になったら進行役の指示に従ってプレゼンテーションを開始してください。
- (2) 面接開始時刻に遅刻した場合は、原則として受験を認めません。遅刻の可能性がある場合は必ず下記「5. 緊急連絡先」までご連絡ください。
- (3) 面接中は携帯電話を手元に用意してください。これは、面接中に通信回線の切断・不安定化が生じ、面接の続行が不可能になった場合、出願書類に記載された受験者の電話番号に連絡を行うためです。
- (4) 面接中はビデオカメラをオンにしてください。
- (5) 面接が開始されたら本人確認のために受験票もしくは学生証をビデオに映し出してください。
- (6) 面接中は画面を録画・スクリーンショットなどは行わないでください。
- (7) 面接中に体調不良を感じた場合は速やかにその旨を申し出てください。
- (8) 試験中に知り得た情報を、当試験受験者以外に知らせることを禁止します。
- (9) その他、進行役・スタッフの指示に従ってください。

※11 各申請者の面接日程、開始時間、Zoom へのアクセス方法は別途メールにて通知します。

7. 採用決定後の注意事項

7.1. 採用手続きについて

採用通知を受けた者はメール等にて別途通知される手続きに期日までに対応する必要があります。期日までに手続きが完了されない場合、採用が取り消される場合があります。

7.2. 研究専念支援金について

フェローシップ生に支給される研究専念支援金は、税法上「雑所得」とみなされ、課税の対象とされています。所得税の納付について確認し、確定申告等の手続きに漏れないよう留意してください。

本フェローシップ採用者が、フェローシップにおける活動目的を達成するために、当該活動等の実施に不可欠であるとフェローシップ責任者が特に認めた場合は、他の競争的資金を受けることが可能です。

8. 備考

8.1. 個人情報の取り扱い

- 申請時に提出された個人情報は「選抜試験（申請処理、試験実施）」、「採用通知」、「採用手続」等の業務および本フェローシップに関する業務を行うために利用されます。
- 選抜試験に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用されます。
- 上記の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

8.2. その他注意事項

- 本フェローシップへの申請を辞退する場合には、可能な限り早期に下記問い合わせ先にその旨をご連絡ください。
- 本フェローシップに採用された場合、氏名・所属などがHP等で公表されます。
- 本フェローシップ採用者には、採用期間中および採用期間終了後にキャリアパス等に関する調査への協力依頼を行うことがあります。
- 採用期間中は別に提示する遵守事項に反しないようご注意ください。遵守事項が守られない場合、支給の停止、返還請求等の対応を取ることがあります。

【 各種問い合わせ先 】

大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構

「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ事務局

TEL: 06-6210-8253

E-mail: selection@cscd.osaka-u.ac.jp